

教材教具説明シート

名称	ピンポン玉入れ		
関係する教科等	自立活動	区分・項目	5 身体の動き (1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること。 4 環境の把握 (4)感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること。
使用対象	<ul style="list-style-type: none"> 物を投げることができる。または、補助具を使ってボールを投げができる。 		
使用目的	<ul style="list-style-type: none"> 対象を注視し、玉を投げる力の加減を意識する目的で使用する。 手指の巧緻性と目と手の協応性を養う。 視覚的、聴覚的に応答性のある教材で、自ら進んで意欲的に取り組もうとする自発性を促すために用いる。 		
活用時の様子	<p>壁際に設置</p> <p>※透明カラーカップを使用</p> <p>音(聴覚)</p> <p>色(視覚)</p>   <p>※ピンポン玉を取り出すときには、トンゲやはしを使う。</p>		

効果・改善点等	<ul style="list-style-type: none">・玉を投げる力の加減をしたり、玉を床に弾ませたり、壁に当てたりするなど、投げ方を工夫し発展させる教材として効果が見られた。・カップに入った玉を取り出すのにトングやはしを使うことで、手指の巧緻性や集中力を向上させる課題として効果が見られた。・玉が床や壁に当たる音を楽しんだり、前回よりも多く入れようしたり、意欲的に活動に取り組むための教材として効果が見られた。・玉を投げる場所の見通しをもちやすくするために、カップの色分けをすることで、より玉を投げる場所が分かりやすくなった。
---------	--